

ICT を活用したコロナ禍における学習指導について

富田林市立小中学校では、GIGA スクール構想で導入された学習用タブレット端末 (iPad) を活用し、新しい授業づくりに取り組んでいるところです。

また、コロナ禍においても、すべての子どもたちの学習指導を実現できるよう、次のような取組みを進めています。

1. 臨時休業・学年閉鎖・学級閉鎖等における学習指導のための活用例

(1)リアルタイム型の活用例

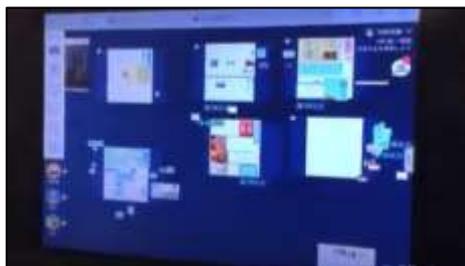
OWEB 会議システム (Meet 等) を活用した授業映像の配信

・教員が授業を行っている様子を WEB 会議システム等を用いてリアルタイム配信する方法です。参加している子どもたちの様子を確認しながら、学習を進めることができます。



○授業支援ソフト (ロイロノート) を活用した教材や課題の配信・提出

・授業支援ソフト (ロイロノート) を用いて、授業内容の解説 (動画や図・説明文等) や課題を配信したり、提出したりする方法です。子どもたちにとっては、普段の授業と同様に取組むことができ、教員も各自の課題の提出状況などをリアルタイムに確認することができます。



(2) オンデマンド型 (録画配信) の活用例

○Google Classroom や授業支援ソフト (ロイロノート) など活用した映像配信

・Google Classroom や授業支援ソフト (ロイロノート) を用いて、あらかじめ撮影・編集した解説動画などを配信する方法です。子どもたちにとっては、体調が回復した時など、それぞれの都合の良い時間帯に閲覧したり、理解が深まらなかった部分を何度も見返したりすることができます。

主語になる単語	単語の意味	セットで使う be 動詞
I	私は	am
We	私たちは	are
You	あなたは・あなたたちは	are
he she it	彼は・彼女は・それは	is
They	彼らは・それらは	are
It's	それは	is
They're	彼らは	are



(3) デジタルドリルの活用例

- ・学習した内容の理解を深めたり、苦手な部分を見つけ出し、繰り返し取り組んだりするために活用します。宿題などで教員が示した問題以外にも、自主学習として取り組むことができ、取り組んだ状況は記録にも残ります。



2. やむを得ず登校することができない児童生徒の学習指導などの活用例

コロナ禍において、やむを得ず登校することができない子どもたちの体調や状況は様々に異なります。また、学年や教科によっても最適な学習指導の方法は異なります。

こうしたことから、各学校では、次のような学習指導を実施できるよう準備をしておりますので相談などがございましたら、各学校まで遠慮なくご連絡ください。

- (1) WEB 会議システム (Meet 等) を活用した授業映像の配信や、あらかじめ録画した解説動画などの配信
- (2) 授業支援ソフト (ロイロノート) を活用した教材や課題の配信と提出
- (3) デジタルドリルによる課題の提示や確認
- (4) Google Classroom や授業支援ソフト (ロイロノート) を用いた課題の提示や諸連絡など

